

みんなで広げよう福祉の心の輪

— 令和3年度 中山地区社会福祉協議会定時総会ご報告 —

令和3年度定時総会は、5月9日（日）中山市民センターに於いて開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から昨年同様、各町内会から選出された代議員及び中山地区社協理事と中山赤十字奉仕団員計74名の皆様による書面審議となりました。

その結果、すべての議案について不承認はなかったことをご報告申し上げます。

よって、中山地区社会福祉協議会会則第9条の3「総会の議決は、出席者の過半数の同意を得て決する。」により、令和3年度の各議案は可決されました。

尚、2面に今年度中山地区社協役員名簿、3面に令和2年度中山地区社協決算報告並びに今年度予算を記載いたしました。

令和2年度 活動報告

昨年度の中山社協の活動につきましては、昨年11月発行の「社協だより 81号」に一部載せてありますが、改めてご報告いたします。

この1年間は新型コロナウイルス拡散のため思うような活動ができませんでした。3密になるサロン開催は難しく、地区全体のサロン参加者を対象にヴァイオリンとピアノによるミニコンサートを開催いたしました。会場の人数制限やできる限りの感染予防対策をとって行いました。参加者からは、「是非もう一度聴きたい」との声も多くありました。

年2回行っていました見回り訪問は対面での会話を避けて7月に、「お変わりありませんか」のおたより配布と3月にはハガキによる安否確認を実施いたしました。このはがきはアンケート形式で防災意識とコロナ禍での健康状態などをお知らせいただきました。多数の方に回答していただき、皆様の日頃の生活状況や健康状態も分かりました。今後の社協活動の参考にさせていただきます。

令和3年5月9日

[illegible]

○癸亥年

坊主が屏風に上手に坊主の絵を描いた

令和2年度 中山地区社会福祉協議会収支決算報告

自令和2年4月1日
至令和3年3月31日
(単位:円)

【収入の部】

科 目	A 予算額	B 決算額	A-B 比較増減	摘 要
1. 前 期 繰 越 金	605,978	605,978	0	前年度繰越金
2. 配 分 金	300,000	300,000	0	連合町内会より
3. 助 成 金	870,000	861,173	8,827	
4. 雑 収 入	0	9	△ 9	銀行利子
合 計	1,775,978	1,767,160	8,818	

【支出の部】

科 目	A 予算額	B 決算額	A-B 比較増減	摘 要
1. 会 議 費	100,000	55,983	44,017	総会、常任理事会、理事会
2. 事 務 費	200,000	56,626	143,374	
3. 事 業 費	1,220,000	602,542	617,458	
4. 予 備 費	255,978	0	255,978	
合 計	1,775,978	715,151	1,060,827	

総 収 入 1,767,160 円
総 支 出 715,151 円
差引残高 1,052,009 円 (次年度繰越金)

会 計 監 査 報 告 書

令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)の収支関係書類について、綿密に監査したところ、いずれも正確かつ適正に処理され決算書と一致していることを認めました。

令和3年4月23日

監 事 遠谷 幸恵



監 事 畑山 悦子



令和3年度 中山地区社会福祉協議会収支予算

自令和3年4月1日
至令和4年3月31日
(単位:円)

【収入の部】

科 目	A 本年度予算額	B 前年度予算額	A-B 比較増減	摘 要
1. 前 期 繰 越 金	1,052,009	605,978	446,031	前年度繰越金
2. 配 分 金	100,000	300,000	△ 200,000	連合町内会より
3. 助 成 金	844,000	870,000	△ 26,000	
4. 雑 収 入	0	0	0	未定により不計上
合 計	1,996,009	1,775,978	220,031	

【支出の部】

科 目	A 本年度予算額	B 前年度予算額	A-B 比較増減	摘 要
1. 会 議 費	100,000	100,000	0	総会、常任理事会、理事会等
2. 事 務 費	200,000	200,000	0	
3. 事 業 費	1,114,000	1,220,000	△ 106,000	
4. 予 備 費	582,009	255,978	326,031	
合 計	1,996,009	1,775,978	220,031	

中山社協子ども応援隊活動報告

令和2年は、バザーなどの活動が全くできませんでした。これまでの売り上げ金から、昨年12月仙台市内5つの児童養護施設に、合計10万円を寄付いたしました。

この活動は東日本大震災後、子供たちのために何か支援したいという思いから始まりました。10年間続けて参りましたが、ここで一応一区切りを付けたいと考えております。これまでのご支援ご協力本当に有り難うございました。心より感謝申し上げます。



言葉で遊んでみませんか



江戸時代には、庶民が自分たちで工夫を凝らして楽しく豊かに生活する文化が根付きました。その中でもお金がかからない「言葉あそび」が盛んに流行しました。少しずつ紹介します。

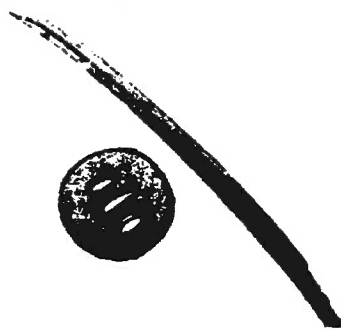
判じ絵 — 絵で言葉表現したもの

練習してみましょう



男の子が持っている絵には、おばあちゃんに伝えたい言葉が書いてあります。左には、「菜」真ん中には蝶ではなく「蛾」と見ます。右の子は「息」を吐いています。そこで、「おばあちゃん長生きしてね。」と言いたいのでした。

下の3枚の絵は現代でもスーパーマーケットで因にする野菜です。それぞれヒントを参考に考えてください。ヒントは、絵の下にあります。



A

刀（刀身）と刀を持つところのある鰐

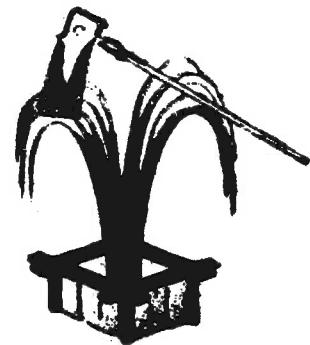
三文字



B

キツネが台の上に
乗っています

四文字



C

四角い囲いは井戸
井戸から出る水の中に
鍬が入っています
三文字